

|      |            |        |                                                         |      |     |     |     |
|------|------------|--------|---------------------------------------------------------|------|-----|-----|-----|
| 科目名  | アジア言語研究演習Ⅱ |        |                                                         |      |     |     |     |
| 英語科目 |            | ナンバリング | (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照 |      |     |     |     |
| 開講期  | 秋学期        | 開講学部等  | 外国語学部                                                   | 配当年次 | 3年次 | 単位数 | 2単位 |
| 教員名  | 今西 利之      |        |                                                         |      |     |     |     |

#### 授業概要／Course outline

「アジア言語研究演習Ⅰ」に引き続き、この演習では、日本語を母語としない多くの人々、外国に文化的なルーツを持つ大勢の人々が我が国における現状を把握し、多文化共生社会という観点から、彼らが我が国の社会の中でどのような問題点を抱えているのかを学びます。また問題点を改善するために日本語教育がどのような役割を果たすことができるのか、日本語教育の内容、カリキュラム、シラバス等にどのように反映させることができるのかについて考え、それを具体的な形にしていきます。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

演習

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

##### 第1回 オリエンテーション及び夏休み期間中の活動報告

この授業の授業概要、授業目標、評価方法の確認と、夏休み中の活動報告及び今後の作業の確認を行います。

##### 第2回～第7回 研究課題の明確化と研究方針の検討

先学期に学んだことをふまえ、各自の研究テーマを絞り込むとともに、研究の具体的な方針を検討します。

※第5回目に「学生－教員間の対話」を行います。

##### 第8回～第14回 研究の遂行と成果の報告

各自の研究テーマに沿って具体的な研究活動を行い、その成果について発表するとともに、レポート作成に向けた作業を行います。

##### 第14回 まとめ

1年間の取り組みをふり振り返りながら、その評価をします。「学習成果実感調査」を行います。

★授業期間中の週末等(日程未定)に、授業の一環として実地見学、現地調査やフィールドワークなど(授業1回分相当)を行います。

#### 事前・事後学修／Preparation and assignments

##### 第1回 オリエンテーション及び夏休み期間中の活動報告

【事前学習】夏休み期間中に、各自が設定した課題に取り組みます。

【事後学習】授業での議論を踏まえ、今後の作業の確認を行います。

##### 第2回～第7回 研究課題の明確化と研究方針の検討

【事前学習】議論に参加できるよう、文献・資料等の読み込みや分析を行なう。発表担当者は発表の準備を行う。

【事後学習】議論を通じて明らかになったことを確実に理解する。また、与えられた課題を確実にこなす。

##### 第8回～第13回 研究の遂行と成果の報告

【事前学習】議論に参加できるよう、文献・資料等の読み込みや分析を行なう。発表担当者は発表の準備を行う。

【事後学習】議論を通じて明らかになったことを確実に理解する。また、与えられた課題を確実にこなす。

##### 第14回 まとめ

【事前学習】1年間で学んだことを整理する。

【事後学習】レポート作成を行う。

※実地見学、実地調査、現地調査やフィールドワークなど(授業1回分相当)

【事前学習】見学先、調査先の状況を把握するとともに、見学、調査の目的や方法について検討する。

【事後学習】見学、調査結果を踏まえ、関連する文献・資料等を確認し、問題や課題をより具体的に把握する。

※事前学修の所要時間の目安は各授業90分、事後学修の所要時間の目安も各授業90分が必要です。

#### 授業の到達目標／Expected outcome

- ・多文化共生の観点から日本語教育の役割について説明できる。
- ・日本語教育の既存の教育内容や教材等を評価できるようになる。
- ・日本語教育の具体的な内容・カリキュラム・シラバス等を考える力を身につけ、具体的な形にできるようになる。

#### 身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
  - ・主体性
  - ・発信力
  - ・協働性・協調性
  - ・倫理性
  - ・創造性
- 専門知識・専門技能  
【外国語学部 アジア言語学科】  
・言語に関わる調査・研究・発信能力

#### 履修上の注意／Special notes, cautions

- ・日本語、日本語教育に関係がある科目を既に受講していることが望ましい。
- ・自らの意志で積極的に取り組むこと。

#### 評価方法／Evaluation

期末レポート：40% 授業への参加度(発表を含む)：40% 課題等への取り組み：20%

※授業内で課した課題等は、添削の上、返却します。また、必要に応じてクラス全体にフィードバックします。

#### 教 材／Text and materials

必要に応じて、ハンドアウト・資料を配付する。

#### 質問や相談の方法／Instructor contact

- ・オフィスアワーは、ガイダンス配付資料及び外国語学部事務室前の掲示で確認してください。  
研究室：第3研究室棟研究室15
- ・メールやMS Teamsでの質問や相談もできます。